

地域と学校をつなげる活動

さくサポ通信

2026年10月

NO.16

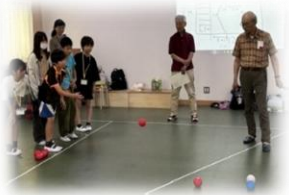
第1回学校運営協議会 5月11日(月)

第1回学校運営協議会が光陵中学校(特別支援学校 多目的室)にて開催されました。会長に名古屋外国語大学 竹内慶至先生が就任され各校・光陵学園としての教育目標が承認されました。今年度より、光陵学園3校(みつば小学校、光陵中学校、瀬戸特別支援学校)が毎回同じ場所で開催協議会を行います。各校で話し合ったことをすぐに共有でき、手を取り合いやすい環境になります。子どもたちの未来を共に考えていきたいと思ひます。



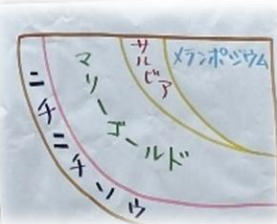
みつば小学校クラブ活動 6月11日(木)

みつば小学校の4年生から6年生のクラブ活動では、グラウンドゴルフ、ボッチャ、琴の活動を地域の方々に講師やサポーターとしてご協力いただいています。第1回ではさくサポはボッチャのお手伝いをさせていただきました。公民館の方よりボッチャの歴史、コートの作り方、試合のやり方などを教わり、一から皆でコートを設営し、試合も行いました。初回で少し緊張もありましたが、児童から公民館の方へ質問をしたり、和気あいあいとした雰囲気での活動ができました。



さくらんぼ学園の子どもたちと一緒に花壇に花の苗を植えよう 6月29日(月)

地域の方、17名に参加していただき、小学部の花壇に花の苗を植えました。草が生い茂った花壇の草取り・土ならしを行った後、教室へ移動して一旦休憩タイム。休憩中に本校児童と自己紹介を行ったり、お礼のお茶をお渡ししたりして交流をしました。休憩後は小学部6年2・3・4組の児童が地域の方へニチニチソウやマリーゴールド、サルビア、メランポジウムのポットを手渡し、順番に花壇に植えていただきました。一緒に造った花壇は見違えるほどになりました。目指すはフラワーブラボーコンクール入賞!!きれいに咲きますように…



みらい科についてみんなで知る会 7月20日(月祝)

今年度開校した光陵学園(みつば小学校・光陵中学校)では地域を舞台に「キャリア教育」「郷土学習」「探求学習」を掛け合わせた独自の教科『みらい科』がスタートしています。菱野団地の交流施設である「ひしのミナクル」で、光陵学園の先生よりみらい科について学校の方針や思いの説明がありました。愛知工業大学・南山大学の学生や子どもカフェ、少年センターなど多くの地域の関係団体の方が参加され、それぞれの立場で何ができるのか意見交換を行いました。



R8年度「地域とともにある学校づくり」研修会 8月18日(火)

瀬戸市文化センターで開催され、瀬戸市コミュニティスクールの進捗報告の後、基調講演ではAII HEROS合同会社、IPU・環太平洋大学特命教授 中山 芳一氏より「非認知能力の育成とコミュニティ・スクール～これからの時代、なぜ非認知能力が必要なのか～」を拝聴しました。非認知能力とは自分と向き合う力、他者とつながる力、自分を高める力など見えない学習能力を言います。AIが社会に普及し、知識や学力だけでは対応しにくい変化が増えているため、子どもたちの非認知能力の育成が求められています。非認知能力を伸ばすためには環境が重要であり、子どもたちが誰と出会い、どんな経験をし、そこから何を学ぶのが大切ということを学びました。改めて、子どもたちにとって地域との関わりがいかに大事であることを確認しました。



発行

問い合わせ先

さくらんぼサポートステーション
地域コーディネーター 中島・山崎

瀬戸特別支援学校(さくらんぼ学園)
地域連携担当職員 阿部
TEL 0561-76-2263

さくらんぼ学園
ホームページ

